

としまち研会報 第131号

おいらのまち

発行 NPO都市住宅とまちづくり研究会 理事会

マニフェスト検証（前編）

10月中旬まではこの暑さがいつまで続くのか…と思っていたのに、急に肌寒くなつてしまりました。25周年イベントも気がつけばもう来週（！）。理事会や実行委員会を中心に、めまぐるしく時代が変化する中で、としまち研が今後めざしていきたい目標像を皆さんとイメージできるようなプログラムを構成したつもりです。としまち研縁のお土産も用意しておりますので、ご都合のつく方はぜひご参加ください（詳細は次ページ下段の記事やHPをご覧ください）。

さて、昨年8月に、今回の25周年イベントと同じ会場にて「新体制のお披露目会」を開催しました。その時のリレートークのアンカーで私がお話ししました「としまち研でこれからやっていきたいこと（あくまでも私見）～まず1年め（2024～2025年）…としまち研設立25周年に向けて」を検証したいと思います。

本号では、“実現できたこと（近日実現予定も含めて）”をご紹介させていただきます。

○コーポラティブ方式の取り組みを1件以上事業化する

⇒ 熊本水前寺“new町家”プロジェクトが始動（現在、参加者及び応援隊を大募集中です）。

○「つながりの家」構想を具現化し、入居予定者募集を開始する

⇒ 「チェリーコモン」（練馬区桜台）でまもなく開始、東京都の補助事業に採択されました！

○住まい・まちづくりの視察ツアーを開催する（年1回、定期化）

⇒ 今年は小田原ツアー（11/28開催）、もと事務局スタッフの五十嵐（福田）敦子さんが取り組んでいるまちの居場所「カフェ わってらか」（10月一木会でお話）を訪問予定。

○事務局スタッフを1名迎える

⇒ 芦田千鶴子さん（以下の「おいらのひとりごと」を寄稿）が就職してくださいました！

次号は、まだ実現に向けて目下取り組み中の項目について（反省と対策、ちょっと変更案？も含めて）執筆したいと思います。
(としまち研理事長：関 真弓)

おいらのひとりごと

としまち研会員によるリレー形式のエッセイです。

「はじめまして！」 芦田 千鶴子

9月より事務局で勤めております、芦田千鶴子と申します。私の地域との関わりは、末っ子が小学生の時、子ども会の役員を引き受けたのが始まりで、以来、16年ほど町内会の役員を続けております。その間も子育てや暮らしの悩みは尽きませんが、「悩んでいるのは自分だけじゃない」と共感し合い、一緒に乗り越えてきたママ友の存在に支えられています。また、私が子供の頃、ご近所さんが我が子のように温かく接してくれていたことも心に残っています。だからこそ、今のママさんたちにもリアルに交流できる仲間を作つてほしい。そして、困った時に世代を超えて頼り合える関係性を築けるよう、多世代が交流できる場づくりを目指して活動しています。

この度ご縁をいただき、としまち研の事務局に加わることになりました。としまち研が目指す「誰もが安心して暮らせるまちづくり」は、私が長年抱いてきた願いと重なります。住まいや暮らしの課題に真摯に向き合うとしまち研の皆さんの活動を支え、共に歩んでいきたいと思っております。

「これからどうぞ、よろしくお願ひいたします！」

*次号の「ひとりごと」は、森 正代さんです。お楽しみに。



一木会のご案内（原則、毎月第一木曜日に行う勉強会・交流会です）

★第358回一木会（2025.9.4）

村島 正彦氏（都市計画コンサルタント）にテーマ「タワマンが大地震に見舞われたら～東日本大震災・仙台タワマンの経験から」でお話し頂きました。タワマンの特徴は、住戸数が多いこと・破格に高層なこと・生活が設備に大きく依存している事などで災害リスクが非常に大きい点。特に停電や地震動リスク、又インフラ途絶は人の心を閉ざし孤立化させる。印象的だったのは“各階”ごとの助け合いコミュニティ形成でした。

その後の懇親会も話題は尽きず地震国日本の管理体制への提案が夜遅くまで続きました。



★第359回一木会（2025.10.2）

五十嵐(福田)敦子氏（わってらか代表）にテーマ「親子と地域の人が出会えるまちの居場所づくり」でお話し頂きました。氏は2024年秋、子育て中の5名と「まちの居場所カフェわってらか」を小田原市の中心街に立ち上げました。

約40m²の空間とのことですが、コンセプトが明快で、育児に対し子供と大人の「縦・横・斜め」の繋がりを地域に定着させ起点にしようとする多くのチャレンジに皆さん感動でした。

その後の懇親会でも氏の活動の拡がりを信じて止まない応援の声が大きく、楽しい時間が過ぎました。



今後の一木会予定（会場＋オンライン）

★ 2025年11月（11月6日）【第360回一木会】

「としまち研設立25周年記念イベント」

詳細は下段の「ご案内」をご覧ください



懇親会の様子（9月/10月）

★ 2025年12月（12月4日）【第361回一木会】

テーマ：「大阪・関西万博2025 旅行記」

ゲスト：五十嵐 一博（いがらし かずひろ）氏（としまち研）他

【重要】 25周年記念イベント & 第360回一木会のご案内

としまち研は、2025年8月4日をもって設立25周年という大きな節目を迎えました。これもひとえに長きにわたりご支援・ご協力くださっている皆様のおかげと、心より感謝申し上げます。この記念すべきアニバーサリーを「一木会」の30周年と合わせて祝う記念イベントを、11月6日（木）に開催いたします。

【プログラムのご紹介】

■第一部『としまち研の活動紹介』（17:30～18:20）

オープニングとして、ミニワークショップ（としまち研コンセプト設計・マンションフリーラボコーナー）を実施します。また、としまち研の取り組みを振り返るスライドショーを上映、当会活動の「過去」～「今」をご覧いただけます。

■第二部『記念講演とクロストーク』（18:30～20:00）

マンション再生と居住政策の専門家であるお二人を講師にお招きし特別講演を開催します。お二人の深い専門知識と知見から、都市住宅とまちづくりの未来について皆さまと考える貴重な機会にしたいと思います。講演後、当会理事長も交えてクロストークを実施します。

- ・大木 祐悟 氏「集合住宅におけるコミュニティを考える」
- ・中島 明子 氏「都市に住むカタチと支えるカタチーとしまち研の25周年に寄せてー」

■懇親会 イベント終了後、同じ建物の1階にある「結ぶ食房 しまゆし」にて懇親会を行い、皆さまとの交流を深める場をご用意しております。

ぜひお知り合いの方もお誘い合わせの上、ご来場ください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

*詳細・申込み方法は、https://tmk-web.com/20251106_event_itimokukai-2-2/をご覧ください。

熊本・水前寺“new町家”プロジェクト「講話の集い」を開催しました

9月21日(日)、本プロジェクト計画地徒歩圏にあるホテル熊本テルサにて、「家に在り、家で健康に暮らす物語—医師と建築家が語る」講話の集いが開催されました。プロジェクトへの参加を検討あるいは応援してくださっている方々が会場・オンラインで30名ほど参加していただきました。

松本武敏先生（「まつもと十在宅クリニック」院長・(一社)熊本県保健医協会副会長）より「医師が考える健康・予防の科学」について、本プロジェクト総合マネージャー丸谷博男氏より「建築家が考える健康・予防の科学」について、それぞれ専門家として持論をお話しいただいた後、対談を行いました。今回、この講話をを行うことになったのも、松本先生が地元紙「リビング熊本」に掲載された情報をもとに説明会に参加してくださったことを機に、当日夜の懇親会で丸谷さんと住まいと健康・福祉をキーワードに話が盛り上がったこととお二人共通の親しいお知合いがいることがわかり、すっかり意気投合。本プロジェクトは本当に不思議なご縁がつながり合っています。

11月はいよいよ建設組合設立に向けて動き出します。関心をお持ちの方はぜひお問合せください！（としまち研：関 真弓）



会場の様子



丸谷さんと松本医師の対談

高齢単身女性が安心して暮らせる「チェリーコモン」

東京郊外の住宅地は、単身世帯の増加を背景に、小規模世帯が孤立して集住する地域に変貌しています。単身での暮らしや離別死別によって単身となった女性達が、人生の高齢期を孤立せず、人とのかかわりを豊かに、最期を全うしたいと思う人は少なくありません。

このような課題に対応し、単身高齢女性の老後の住まい「チェリーコモン」を練馬区桜台で準備しています（賃借型のコーポラティブハウスです）。終身建物賃貸借契約なので途中で転居せずに住み続けられ、もし認知機能の低下が心配になら任意後見契約を結び、援助してもらうことも可能です。

あなたも、あなたの知人友人も、この機会に入居を本気で考えてみませんか？仲間の高齢女性と地域で色々な活動をして、高齢期を元気に暮らしましょう。

（連絡先：としまち研 杉山 昇）



「おいらのしごと」

としまち研会員がふだんどうのうな仕事をしているか紹介するコーナーです。

マンションに住み、管理組合に関わって23年ですが、本業は建築や住宅とは全く関係ありません。若い頃は翻訳コーディネータ、同時通訳コーディネータ、リサーチャーとして渡り歩き、フィリピンで日本車の販売調査を担当したこともあります。

現在は、輸出製品の取扱説明書を多言語化する会社におり、入社して27年になります。最初の5年間は客先に出向して、取扱説明書をアジア、中東、欧州、南米等の言語に翻訳し、言語別に取説を制作しました。その後、取説制作要員を顧客に派遣する責任者となり、さらに派遣したスタッフ数名が、晴れて顧客の社員に登用されたため、人材派遣事業と職業紹介事業の責任者を兼務しました。

2008年には、マレーシアで開催された通訳や翻訳の国際会議で基調講演をしました。2013年からは、ドイツでトップシェアを誇る多言語取説制作支援システムの国内代理店になったため、現在はその責任者です。コロナ禍の3年間を除き、ほぼ毎年欧州へ出張し、オンラインでのグローバルミーティングにも参加して、都度日本のマーケットやユーザの報告をしています。出張先でマンションを見つけると、思わず建物をじっと眺めてしまうため、そのうち現地で通報されるかもしれません（苦笑）。先般、日本と欧米のマンション管理の相違点を独自に調べたため、マンションフリーラボで、後日そのご報告を考えています。

（分譲マンション地域ネットワーク：村上 嘉陽）

としまち研掲示板

『マンションが築50年を迎えた…第3弾』

第2回は9月18日(木)に開催。「マンション再生の成功事例から見える5つの共通項」というテーマで菅野 良寛氏(としまち研理事)にお話し頂きました。第3回は11月13日(木)開催予定。「参加者の声で読み解く管理組合の本音と課題:2022~2024年度和光市意見交換会のアンケート結果より」というテーマで、村上嘉陽氏にお話し頂きます。

▲マンション再生連続勉強会



▼マンションフリーラボ

マンションにお住まいの方や関心をお持ちの方向けの情報交流の場。第4回は10月18日(土)に開催。①マンション関係法の改正について(国交省・歌代純平氏)②共有資産の価値向上について考える(村上嘉陽氏)③マンションの防災について(田村新氏)の3名にお話し頂き、意見交換・情報交流、ミニ懇親会が行われました。

第5回は来春1月を予定しています。

▼としまち研 部会などの開催予定▼

コーポラティブハウス部会	11/20(木) 18:00 ~
マンション再生部会	11/13(木) 16:30 ~
人と暮らし部会 総務広報部会	11/10(月) 18:30 ~

▼としまち研イベントのお知らせ▼

「2025年秋畳材で正月リースを創ろう！」

日 時：11月15日（土）10:00～12:30頃

場 所：としまち研会議室

参加費：500円

定 員：20名（先着順）



「まちの居場所カフェ わってらかへの視察」

日 時：11月28日（金）13:30～17:00頃

視察先：まちの居場所カフェ わってらか
(小田原市南町3-1-57)

参加費：1,000円

定 員：20名（先着順）



2頁(第359回一木会)でお話いただいた五十嵐さんの活動拠点です。ぜひ、皆さんで訪問してみましょう！

ホームページをご覧の上お申し込みください。

▼臨時総会のご報告▼

10月27日(月)に開催した臨時総会は、会員の皆様のご協力により、無事終了いたしました。第1号議案「定款変更(東京都居住支援法人登録関連)」は、出席者全員一致をもって可決されました。

これを受け「東京都居住支援法人」への登録申請手続きを進めてまいります。



引き続き、皆様のご支援
宜しくお願ひいたします。

としまち研 Instagram (インスタグラム) フォローをお願いします！

右のQRコードを読み込んでいただくか
「npo_toshimachiken」で検索すると
出てきます。



NPO_TOSHIMACHIKEN

□編集後記

万博も閉幕し秋本番ですが、会員の皆様お元気でしょうか。今日はトヨタ実験都市(Woven City)をフォーカスしてみます。9/25 静岡県裾野市の東富士工場跡地に最大2千人が住み一つの街を創るプロジェクトがスタート。開発者とユーザーが同住居に集うことでサービスやプロダクトテストの高速化と改善に繋げるのが目的、注目ですね。ご寄稿協力ありがとうございました！

*写真はアンナブルナ旅から持ち帰った水晶W≈25cm。強浄化パワーをバッチリ受け取ってください！謙訪



〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階
TEL : 03-5207-6277 FAX : 03-5294-7326
E-mail : info@tmk-web.com ホームページ https://www.tmk-web.com/
Facebook : https://www.facebook.com/toshimachiken/
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研の現在の会員数
正会員48名 賛助会員27名
編集発行人 五十嵐 一博
事務局担当 謙訪 恵里子

